

# 第2回と第3回の成果を踏まえ、第4回（今回）は小津学区を活性化する取り組みを考えます

## 第2回 小津学区の特徴とたからもの

**特徴**  
  
 ① ホタルや水田園風景など  
  
 ② 過去から受け継ぐ  
  
 ③ 絆でつながる  
  
 ④ 安心・安全で住みよいまち

### たからもの

- **身近な水資源**  
・ 守山川、新守山川、境川、小津袋  
過去の伏流水、山賀内湖、など
- **季節を感じる花**  
・ 芦刈園、桜（新守山川や境川）、  
レンゲ畑、バラ園、など
- **多様な生物**  
・ ホタル、カモ、鯉、すっぽん、  
ハリヨ、など
- **山々の眺望**  
・ 比叡山、三上山、など
- **地域の歴史**  
・ 蓮如上人ゆかりの地、門前町、  
金森長近、神輿、歌舞伎、  
長刀祭、千灯祭、八月薬師、など
- **歴史を語る遺跡**  
・ 金森城址、山賀城址、大林城址、  
庭塚古墳、三津川歴史遺産、  
金森西遺跡、金森東遺跡、など
- **13ヶ寺を中心とする寺社仏閣群**  
・ 小津神社、金森御坊、薬師堂、浄念  
寺、岩崎神社、欲賀神社、熊野神社、  
天満宮、など
- **盛んな地域活動や行事**  
・ 小津クラブ、ふれあい広場、  
子育てサロン、すこやかサロン  
合同夏祭り、など
- **地域の憩いの場所**  
・ ふれあい広場、グラウンド、  
運動公園、市民ホール、  
目田川公園、農村公園、など
- **安全・安心を守る活動**  
・ 子ども見守り隊、防災訓練、  
スクールガード、など
- **交通の要衝**  
・ 馬街道、など
- **その他**  
・ 広くて平坦な道路、など

## 第4回 小津学区活性化の取り組み

「たからもの」と「まちづくりの方向」を関連  
づけて、どんなことができるか、何をしたら学  
区が元気になるか、考えてみてください！  
これは例です、参考にどうぞ。

**【活用するたからもの】**  
ホタル、守山川、桜 など

**【活性化の取り組み】**  
たからものを活かしたイベント等を企画  
し、自然とふれあいながら交流を行う。  
・ 水辺の生きものと遊ぼう  
・ イベントカレンダー、たからものマップ

**【活用するたからもの】**  
寺社仏閣群、地域の歴史

**【活性化の取り組み】**  
地域の歴史や伝統・文化を知り、もっと地  
域を好きになってもらう  
・ 歴史の語り部ツアー  
・ 寺で継続的にイベント等を開催し、地域  
で集まれる場として活用 など

第3回会議ではすでにこんな  
アイデアが出ています。  
これらをもっと具体的にす  
ることも考えましょう！

**<第3回会議で出して頂いた取り組み>**

- ・ 古墳を活用した公園化
- ・ 門前町、環濠等、地域の歴史の再現
- ・ 住民が楽しめるよう伝統文化を受継ぐ
- ・ 多様な生物が生息できる環境づくり
- ・ 川や公園を活かした憩いの場所づくり
- ・ 健康づくりの場の整備
- ・ 共有できるシナリオの作成
- ・ 指導者の育成
- ・ 人間関係を仲立ち（婚活推進）
- ・ 気軽に参加できる行事の企画・幅広い参加推進
- ・ 身近にいる連携が取れる人から始める
- ・ 自治会に留まらず学区単位での連携を
- ・ 気軽に遊べる・集まれる場所づくり
- ・ 貸家庭菜園、畑体験 など

## 第3回 小津学区の課題とまちづくりの方向性

**まちづくりの方向**

### 課題

- **川や琵琶湖の環境の悪化**  
・ 小津袋や赤野井湾内湖の水質悪化  
・ 外来魚やヨシ・ヒヨシの氾濫  
・ 雨水が流れ、ゴミが多い
- **ホタルの生育環境の減少**  
・ 自生環境の減少  
・ 放流の失敗  
・ 水や草の維持
- **地域についての知識不足**  
・ 歴史や地域環境、遺産等について  
知識が無い
- **祭の継続・継承が困難**  
・ 自治会単位での世話は困難  
・ どのように長刀祭を継承していくか
- **地域の掃除・維持管理困難**  
・ 公園や道路脇に雑草  
・ 自治会の掃除のみでは対処困難
- **子どもの遊び場の減少**  
・ 遊び場がないので、遊ばせない  
・ 若い人の集まる場所が無い
- **気軽に集まれる場所の減少**  
・ 井戸端会議の場所が減った  
・ 魅力的なお店が少ない
- **少子高齢化・人口減少**  
・ 高齢者のひとり暮らしが増加  
・ 役割を担える人材の減少  
・ 子育ての支援体制が不安
- **地域に対する考え方の変化**  
・ 地域の活動への積極性が希薄化  
・ 個人主義的な考え方の増加
- **農業の担い手不足**  
・ 農業の後継者がいない
- **交通量の増加や道路整備**  
・ 近道のため生活道路に入込む車  
・ 街灯が少なく、暗く怖い場所
- **公共交通の便が悪い**  
・ 運行が少なく、団地外へ出にくい

### まちづくりの方向

- 新守山川や小津袋に  
親しむ憩いと健康の  
環境づくり
- 多くの世代が門前  
町・古墳・環濠・社  
寺等の  
歴史・伝統と親しむ
- ホタルや長刀祭、  
身近な魅力から  
つながる地域づくり
- 生成りから始める  
推進体制づくり
- 地域皆が架け橋となり  
定住を促進する取組み
- 農業に触れる  
きっかけや制度づく
- 安全・安心な  
生活環境づくり

(注) 第2, 3回のワークショップ会議で記入されたものから抜粋